

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月14日

上場会社名 スタイライフ株式会社
 コード番号 3037 URL <http://www.stylife.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 眞二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 金井 湧二
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

TEL 03-5785-7001

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,654	4.1	△81	—	△74	—	△87	—
21年3月期第1四半期	1,589	—	61	—	66	—	34	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△4,412.03	—
21年3月期第1四半期	1,707.65	—

(注)前四半期(21年3月期第1四半期)は、「四半期決算短信」の適用初年度にあたるため対前年同期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	4,679	2,071	44.3	104,048.28
21年3月期	4,884	2,181	44.7	109,576.96

(参考)自己資本 22年3月期第1四半期 2,071百万円 21年3月期 2,181百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	1,250.00	—	1,250.00	2,500.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	1,000.00 ～2,500.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

※平成22年3月期の配当予想につきましては、業績の進捗及び経営環境等を総合的に勘案し、第2四半期末(中間配当)と期末の配当額を決定させていただきたく、現時点では年間配当予想のみとさせていただきます。
 なお、平成22年3月期の連結配当性向は、28.0%～70.1%を予想しております。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,570	16.6	△55	—	△62	—	△92	—	△4,621.49
通期	7,900	12.8	182	98.5	167	57.2	71	—	3,566.58

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 20,407株 21年3月期 20,407株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 500株 21年3月期 500株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 19,907株 21年3月期第1四半期 20,407株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、昨年秋の国際的な金融危機に端を発した世界的な景気後退により企業業績が低迷し、これに伴い雇用・所得の不安などから個人消費が冷え込むなど、依然として厳しい経済環境で推移いたしました。

当社グループの関連する業界につきましても、衣料小売業界などが個人消費の低迷から厳しい環境となりました。

このような市場環境の中、当社グループでは、3,000万人を超えるauユーザーを保有されているKDDI㈱と新たなファッションECサイト（本年秋開設の予定）を共同で展開する業務提携を行いました。

また、コスメ事業においては、主力ブランドである『豆腐の盛田屋』シリーズの認知度向上の促進策として、健康と美をテーマとした『SOYS CAFE by 豆腐の盛田屋』（東京・麻布十番）を開設し、テレビや雑誌など数多くのマスメディアにてご紹介いただいております。

さらに、コスメ事業を展開する連結子会社2社（(株)ハイマックスと(株)カサ デ ロミカ）の統合による効率化の促進など、中長期的な成長に向けた基盤の構築を進めました。

当第1四半期における当社グループの業績につきましては、(株)ハイマックス（昨年8月29日付で連結子会社化）の業績寄与などにより、売上は増収となりました。

一方、利益面におきましては、ファッションコマース事業において、出版不況及び個人消費低迷の影響を受け通販雑誌をメディアとするLook!s部門が前年同期に比べ減収減益となったことに加え、KDDI㈱との共同ECサイトの開設に向けた先行投資やコスメ事業において、ブランド認知度の向上を目的とした『SOYS CAFE by 豆腐の盛田屋』を開設するなど投資が先行したことから、一時的に損失を計上いたしました。

特別損益については、前連結会計年度末に破産更生債権等として計上したモバイルコマース会社に対する債権の一部回収により、これに対応する貸倒引当金戻入額12百万円を特別利益に計上いたしました。

一方、物流改革の一環として本年4月にカスタマーセンターを新物流拠点へ移転したことに伴う費用として11百万円を特別損失に計上いたしました。

以上の結果、売上高16億54百万円（前年同期比4.1%増）、営業損失81百万円（前年同四半期は61百万円の営業利益）、経常損失74百万円（前年同四半期は66百万円の経常利益）、四半期純損失87百万円（前年同四半期は34百万円の四半期純利益）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前第3四半期連結会計期間から事業の種類別セグメントを変更したため、前年同四半期比較にあたっては前第1四半期連結会計期間分を変更後に組み替えて行っております。

[ファッションコマース事業]

ファッションコマース事業は、ファッション通販雑誌『Look!s』『大人Look!s』、インターネットショッピングサイト『Stylife』（<http://www.stylife.co.jp/>）、『nuan +』（<http://www.nuan.gr.jp/>）、『OUTLET CHU:SE』（<http://chuse.jp/>）、モバイルショッピングサイト『スタイライフ☆Look!s』の自社メディア等によるファッション関連アイテムの通信販売を主に計上しております。

当第1四半期のファッションコマース事業の業績につきましては、出版不況及び個人消費の低迷からLook!s部門の業績が前年同期実績を下回りました。また、ネット部門におきましては、取扱ブランド数、商品数の拡充を進め、規模の拡大を図っておりますが、一方、衣料小売業界における商品の低価格化、セールの前倒しなどの影響を受け、当社におきましても、販売数量は増加するものの、商品単価、1回当たりの購入単価が低下するなど業績は厳しいものとなりました。

さらに、KDDI㈱との共同ECサイトの展開に向けた基盤整備など投資が先行いたしました結果、一時的に営業損失を計上いたしました。

以上の結果、売上高12億2百万円（前年同四半期は13億50百万円）、営業損失80百万円（前年同四半期は64百万円の営業利益）となりました。

[コスメ事業]

コスメ事業は、(株)ハイマックス、および(株)カサ デ ロミカにおける化粧品販売等が主なものであります。

当第1四半期のコスメ事業の業績につきましては、平成20年8月29日に連結子会社化した(株)ハイマックスの業績寄与により売上は前年同期に比べ増収となりましたが、『SOYS CAFE by 豆腐の盛田屋』の開設など、プロモーションコストが先行した結果、一時的に営業損失を計上いたしました。

以上の結果、売上高2億21百万円（前年同四半期は2百万円）、営業損失23百万円（前年同四半期は4百万円）となりました。

[生活雑貨事業]

生活雑貨事業は、ノーマディック㈱における全国の大型専門店や百貨店などへのバッグなど生活雑貨の卸売が主なものであります。

当第1四半期の生活雑貨事業の業績につきましては、個人消費が低迷する厳しい市場環境の中、ノーマディック㈱が主力商品の街歩きをテーマとしたバッグを中心にビジネスバッグなど幅広い製品を取り揃え、卸先の開拓を精力的に進めた結果、前年同期に比べ増収増益を達成いたしました。

以上の結果、売上高2億16百万円（前年同四半期は2億6百万円）、営業利益22百万円（前年同四半期は19百万円）となりました。

[その他事業]

その他事業は、他社の通信販売業務をサポートするフルフィルメント事業などが主なものであります。

当第1四半期のその他事業の業績につきましては、売上高14百万円（前年同四半期は29百万円）、営業利益573千円（前年同四半期は18百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ115,104千円減少となりました。この主な要因は、未収入金が139,553千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ90,144千円減少となりました。この主な要因は、破産更生債権等が142,951千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ205,758千円減少し、4,679,096千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ174,002千円減少となりました。この主な要因は、未払金が168,320千円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ78,303千円増加となりました。この主な要因は、長期借入金が65,547千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ95,698千円減少し、2,607,807千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計期間末に比べ110,059千円減少となりました。この主な要因は、四半期純損失87,830千円を計上したこと等によるものであります。

この結果、純資産合計は、2,071,289千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末残高より121,793千円増加し、773,839千円（前年同四半期末残高は424,934千円）となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、83,916千円の資金の減少（前年同四半期は314,136千円の資金の減少）となりました。これは主に、売上債権の減少93,985千円、たな卸資産の増加19,805千円、仕入債務の減少148,501千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、40,748千円の資金の減少（前年同四半期は131,250千円の資金の増加）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出54,640千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、246,301千円の資金の増加（前年同四半期は23,831千円の資金の増加）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額による収入200,000千円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

ファッションコマース事業では、有力ブランドの開拓をより一層強化するとともに、顧客満足度向上に向けた改善、改革を精力的に進め、新規会員の獲得、及び既存会員のアクティブ率の向上を促進しております。

また、KDDI㈱との共同運営による新ファッションECサイトを本年秋より開始することを予定しており、国内3,000万人超の会員数を誇るKDDI㈱のプロモーション力と当社のECに関するノウハウ、資産を投入することで、業界屈指のファッションECサイトに育成できるものと考えておりますが、当連結業績への影響につきましては、市場環境及び事業の進捗状況等を総合的に勘案した後、必要に応じて適時公表させていただきます。

コスメ事業では、プロモーション強化による新規会員の獲得、グループ全体でのECノウハウの活用やシステム強化等によるショッピングサイト「豆腐の盛田屋」の規模の拡大を促進するほか、本年6月1日付でコスメ事業を展開する子会社2社を統合し、経営効率を高めるなど、事業基盤の強化を図っております。

生活雑貨事業では、企画開発力の強化による製品ラインアップの拡充とともに、新規販路（卸売先）の開拓を精力的に進めております。さらに、本年秋に自社ショッピングサイトの開設を予定しており、直販事業の体制構築を進めております。

以上、現時点におきましては、平成21年5月15日に発表いたしました平成22年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想数値に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末の算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期連結貸借対照表関係)

前第1四半期連結会計期間において区分掲記しておりました「未収入金」は、金額が資産総額の100分の10以下のため、当第1四半期連結会計期間より流動資産の「その他」に含めて表示しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末の「未収入金」は40,836千円です。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812,877	691,083
受取手形及び売掛金	808,051	929,257
有価証券	148,784	147,667
商品及び製品	700,350	676,405
仕掛品	19,145	23,358
原材料及び貯蔵品	25,873	25,799
その他	230,672	367,426
貸倒引当金	△2,268	△2,408
流動資産合計	2,743,485	2,858,590
固定資産		
有形固定資産	203,618	189,623
無形固定資産		
のれん	413,466	419,915
その他	331,058	304,272
無形固定資産合計	744,524	724,187
投資その他の資産		
投資有価証券	809,429	817,406
破産更生債権等	276,244	419,196
その他	178,038	164,062
貸倒引当金	△276,244	△288,720
投資その他の資産合計	987,467	1,111,945
固定資産合計	1,935,610	2,025,755
繰延資産	—	508
資産合計	4,679,096	4,884,854
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478,823	627,325
未払金	432,313	600,633
短期借入金	800,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	119,452	113,332
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	11,716	60,758
賞与引当金	33,162	38,443
返品調整引当金	19,390	27,220
販売促進引当金	17,990	16,710
その他	78,126	80,553
流動負債合計	2,090,974	2,264,977

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	395,549	330,002
退職給付引当金	29,792	30,472
役員退職慰労引当金	15,008	14,233
その他	76,483	63,821
固定負債合計	516,832	438,528
負債合計	2,607,807	2,703,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,456,775	1,456,775
資本剰余金	700,455	700,455
利益剰余金	△28,273	84,440
自己株式	△56,968	△56,968
株主資本合計	2,071,989	2,184,703
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△700	△3,355
評価・換算差額等合計	△700	△3,355
純資産合計	2,071,289	2,181,348
負債純資産合計	4,679,096	4,884,854

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,589,398	1,654,946
売上原価	944,326	959,141
売上総利益	645,072	695,805
返品調整引当金戻入額	22,444	27,220
返品調整引当金繰入額	20,281	19,390
差引売上総利益	647,235	703,635
販売費及び一般管理費	585,540	785,489
営業利益又は営業損失(△)	61,695	△81,854
営業外収益		
受取利息	5,740	1,598
持分法による投資利益	488	219
保険解約返戻金	—	6,603
その他	634	4,425
営業外収益合計	6,862	12,846
営業外費用		
支払利息	678	4,415
株式交付費償却	998	508
その他	113	659
営業外費用合計	1,790	5,583
経常利益又は経常損失(△)	66,767	△74,590
特別利益		
投資有価証券売却益	790	—
貸倒引当金戻入額	—	12,527
特別利益合計	790	12,527
特別損失		
投資有価証券売却損	—	442
物流拠点移転費用	—	11,314
特別損失合計	—	11,757
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	67,557	△73,820
法人税、住民税及び事業税	32,774	11,101
法人税等調整額	△65	2,908
法人税等合計	32,709	14,009
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,848	△87,830

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	67,557	△73,820
減価償却費	15,556	25,877
のれん償却額	3,278	6,448
株式交付費償却	998	508
持分法による投資損益(△は益)	△488	△219
貸倒引当金の増減額(△は減少)	499	△12,615
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,199	△680
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	774	774
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,989	△5,280
販売促進引当金の増減額	144	1,279
返品調整引当金繰入額	20,281	19,390
受取利息及び受取配当金	△5,740	△1,598
支払利息	678	4,415
為替差損益(△は益)	△987	△156
長期前払費用の増減額(△は増加)	717	1,483
固定資産除却損	—	3,349
投資有価証券売却損益(△は益)	△790	442
売上債権の増減額(△は増加)	8,407	93,985
たな卸資産の増減額(△は増加)	△107,769	△19,805
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	142,951
未収入金の増減額(△は増加)	△349,225	137,933
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△8,273	△6,048
仕入債務の増減額(△は減少)	△94,923	△148,501
未払金の増減額(△は減少)	222,730	△151,062
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,958	△2,378
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△2,159	△5,504
その他	—	△34,398
小計	△240,479	△23,229
利息及び配当金の受取額	7,342	120
利息の支払額	△678	△4,463
法人税等の支払額	△80,321	△56,342
営業活動によるキャッシュ・フロー	△314,136	△83,916

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の回収による収入	20,000	—
有形固定資産の取得による支出	△869	△15,245
無形固定資産の取得による支出	△6,800	△54,640
投資有価証券の売却による収入	120,000	12,312
敷金及び保証金の差入による支出	△1,080	△466
その他	—	17,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	131,250	△40,748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	—
短期借入金の返済による支出	△20,000	—
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△35,762	△28,333
配当金の支払額	△20,407	△21,699
リース債務の返済による支出	—	△3,665
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,831	246,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	987	156
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△158,067	121,793
現金及び現金同等物の期首残高	583,001	652,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	424,934	773,839

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	小売事業 (千円)	卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	1,383,535	205,863	1,589,398	—	1,589,398
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,031	1,031	(1,031)	—
計	1,383,535	206,895	1,590,430	(1,031)	1,589,398
営業利益又は損失(△)	47,712	13,982	61,695	—	61,695

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品

小売事業・・・ファッション通販雑誌「Look!s」「大人Look!s」、インターネットショッピングサイト「Stylife」「nuan+」「CHU:SE」によるファッション関連アイテムの通信販売及び、バッグなどの生活雑貨並びにコスメ商品の通信販売であります。

卸売事業・・・バッグなど生活雑貨並びにコスメ商品等の卸売であります。

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」1に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	ファッション コマース事業 (千円)	コスメ事業 (千円)	生活雑貨事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,202,731	221,423	216,325	14,465	1,654,946	—	1,654,946
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	395	—	1,210	1,605	(1,605)	—
計	1,202,731	221,819	216,325	15,675	1,656,552	(1,605)	1,654,946
営業利益又は損失(△)	△80,878	△23,563	22,014	573	△81,854	—	△81,854

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品

ファッションコマース事業

通販雑誌「Look!s」「大人Look!s」等、インターネットショッピングサイト「Stylife」

「nuan+」「OUTLET CHU:SE」等、及びモバイルショッピングサイト「スタイライフ☆Look!s」等による衣料品を中心としたファッション関連商品の販売事業。

コスメ事業

コスメ商品の企画・製造・販売事業。

生活雑貨事業

バッグを中心とした生活雑貨の企画・製造・販売事業。

その他事業

通販支援事業等。

3. 事業区分の変更

コスメ商品販売を中核とする株式会社ハイマックスの全株式を平成20年8月29日に取得し、前連結会計年度より連結の範囲に含めました。これに伴い、管理体制や現状の売上高の状況等を踏まえ、製品又は商品及びサービスごとに事業セグメントを区分することが妥当であると判断し、前第3四半期連結会計期間より事業セグメントを変更致しました。

変更後の事業区分の方法による前第1四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報は次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	ファッション コマース事業 (千円)	コスメ事業 (千円)	生活雑貨事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,350,558	2,799	206,583	29,457	1,589,398	—	1,589,398
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	546	—	485	1,031	(1,031)	—
計	1,350,558	3,346	206,583	29,942	1,590,430	(1,031)	1,589,398
営業利益又は損失(△)	64,905	△4,603	19,417	△18,024	61,695	—	61,695

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。